

連盟だより

第25号

平成21年3月1日

題字 故 綾部義彦氏
(静岡県家庭婦人バレーボール連盟 第4代 会長)

発行 静岡県家庭婦人バレーボール連盟事務所 〒436-0221 掛川市上垂木 1061-1

世界にはばたけ！ママさんバレー 第3回 LAWSON CUP 特集号

《毎日を笑顔で》

会長 渥美 みつ

世界同時不況、労働者の解雇等、目を覆いたくなるようなニュースが耳や目にとびこんで来て暗澹たる気持ちにさせられるこの頃ですが、こんな時こそ主婦である私たちが、背筋を伸ばし、明るい笑顔で毎日を送り、周囲の皆に少しでも安心感を与えることが出来たらいいと思います。

それにはバレーボールです。今こそ仲間と手をつなぎ合い、楽しくバレーボールを盛り上げようではありませんか！

昨年のLAWSON CUPではチームの皆さんには大変ご協力をいただきありがとうございました。開会式での一糸乱れぬ入場行進、影日向なく走り回って働く裏方の人たち、今でも私の脳裏にしっかりと焼きついております。

また、県代表の栄クラブが優勝、曳馬クラブは第三位と全国にその名を轟かせる大活躍をしてくれました。ここにその健闘を讃えたいと思います。

盛りだくさんの大会や行事も滞りなく終了することができました。これもチームの皆さんのご協力と関係各社のご支援の賜と厚く御礼申し上げます。

また、新年度も大きな大会を行う予定も入っており、益々のお力添えをお願いいたします。

もう一つのお願いは、年々チームが減少傾向にあり淋しく思います。一人

でも多く、バレーボール愛好者を増やし、仲間の輪を広げていきたいと思えます。ひとり一人の仲間を誘うよう頑張らしましょう。

《成せば成る》

理事長 戸塚美代子

二十年度の各事業、大会が無事終了出来ましたことは、県協会はじめ協賛社、諸先輩そして、チームの皆様の温かいご支援、ご協力によるものと深く感謝申しあげます。

第三回LAWSON CUP全国大会で栄クラブが全国制覇を成し遂げたことは、家庭婦人連盟始まって以来の快挙でありました。苦しい練習もさることながら選手一人一人の気持ちが目標に向かって「成せば成る」の心意気で達成した栄冠だったと思います。

第四十回記念の全国ママさんバレーボール大会を八月六日〜九日まで浜松アリーナで開催する運びとなり、チームや関係の皆様は再度お力添えをお願いしなくてはなりません。全国大会を平成二十年に続いて開催できますことは、苦勞も二倍ですが喜びも二倍だと思いい「成せば成る何事も」の精神で全力を注ぎたいと決意を新たにしています。皆様方のご協力をよろしくお願ひいたします。

先日、雄大な富士山を眺めながら蒲原から由比までの十三キロを歩いて来ました。日頃バレーボールで鍛えた？足

のおかげで薩埵峠の山道も軽々と登り、ささやかな達成感に浸った一日でした。私は健康でバレーボールの出来る環境に感謝し、平凡な毎日を送れるありがたさを感じています。

牛のように一步一步ゆつくりと前に進み、たゆまぬ努力をし、家庭婦人連盟の発展の為に微力を注ぎたいと思ひます。

第三回LAWSON CUP 「よせ」

副会長 曾根田佳子

まだ耳新しい大会名のLAWSON CUP、高いレベル、ご褒美の豪華さ、静岡県勢では高嶺の花、縁なきものと思っております。

それが、ここ数年大きな大会を手掛けたことのない本県で開催されることになり正直とまどいました。主催者のご指示・ご指導に従っての運営のこと、それでも一大決心で臨みました。

フレッシュの力がまとまって、熱意と努力、大勢の協力が各処から高い評価をいただいたのは大変喜ばしいことでした。

そのうえ、ベスト四に栄クラブ、曳馬クラブが揃って勝ち進み、競技でも静岡の実力を遺憾なくアピールでき、栄クラブの全国制覇の快挙をなしとげま

した。

皆が一つの心となつての大事業、多くの勉強が連盟の財産として得られた飛躍の大会でした。

副会長 大川由美子

第三回 LAWSON CUP が静岡開催と決まり、驚き、不安、喜びが気持ちの中をよぎりました。役員一人一人の胸の内は複雑だったに違いありません。決定した以上は、大会にむかう意識、意思統一を図ることが大事であると役員一同確信いたしました。全国家庭婦人連盟のご指導をいただき、目的達成へと進めていきました。しかし、到底役員だけで出来るはずありません。開催地の浜松市を主に、西部の登録チームのメンバー、更に中部地区、東部地区と賛同してくださるメンバーを募り、四日間の人員確保は万全な体制で臨むことができました。皆さんの協力がなかったら大会の成功は不可能だったと思います。

会場から聞こえる選手たちの大きな声や応援の方たちの歓声が今でも耳に残っております。私たちに与えてくださった幸せをいつまでも忘れずに、この体験をこれからの人生に生かして行きましょう。

第三回 LAWSON CUP に

携わって

副理事長 水口みさ子

あれからもう一年が経とうとしています。時の経つのが何と早かった事か！何が何だか分からないまま駆け抜けて行ってしまった五日間で

した。それにしても、沢山のチームの方々にご協力頂いて、私達の気付かない所は危うさを感じさせない程の機転を利かせて頂いて乗り越える事ができた今更ながら感謝に堪えません。バレーボールというスポーツは、チームワークが何よりも大切なんだとは常に感じてはいても、LAWSON CUP の全国大会の運営というコートの中で見事なチームワークと集中力で私達役員をバックアップしてくださいました。開会式の入場行進の素晴らしいさに涙を流してくださった全国連盟の役員さんもおいででした。迎える側の緊張と、参加チームの皆さんの緊張を解きほぐす明るい笑顔が全国大会の成功を導き出したと思っております。本当に有り難うございました。

そして、今年度は、四十回の記念となる全国ママさんの会場が静岡県となりました。どうかもう一試合でござんだと思つて下さい。私達も決死の覚悟で臨みます。そして思い切り戦い終わった充足感を一緒に味わつて頂きたいと切に願っております。

副理事長 栗田 美春

大会が近づくにつれ、我が家にはLAWSON CUP に必要な各県の旗や優勝カップなどが持ち込まれることで不安と緊張感が徐々に増してきました。

式典係の最初の仕事は、各県の旗のアイロンがけ。大会当日まで、シワにならないように気をつかいながら、一枚一枚アイロンがけをしました。西部の役員も大会が近づいていることを感じずにはいられない作業でした。

式典のメインは、もちろん開会式と閉会式です。西部のチームの皆さんには、ほんとうにいつも

気持ちよくご協力頂き感謝でいっぱいです。

開会式も二回くらのリハーサルだけで、本身に身の引き締まるような立派な開会式になりました。プラーカーダーの緊張感が、全国から集まった選手の方々に伝わったのでしょうか。開会式の中での「ママさんバレーのうた」も、すばらしい歌声で大会を盛り上げてくれました。

静岡代表の二チームが大活躍のなか、閉会式を迎えました。何度も打合せをし、静岡での大会を良い思い出に思ってもらえるようにと心をこめて司会を勤めさせていただきました。開会式同様、とてもよい大会として終えることができましたように思います。

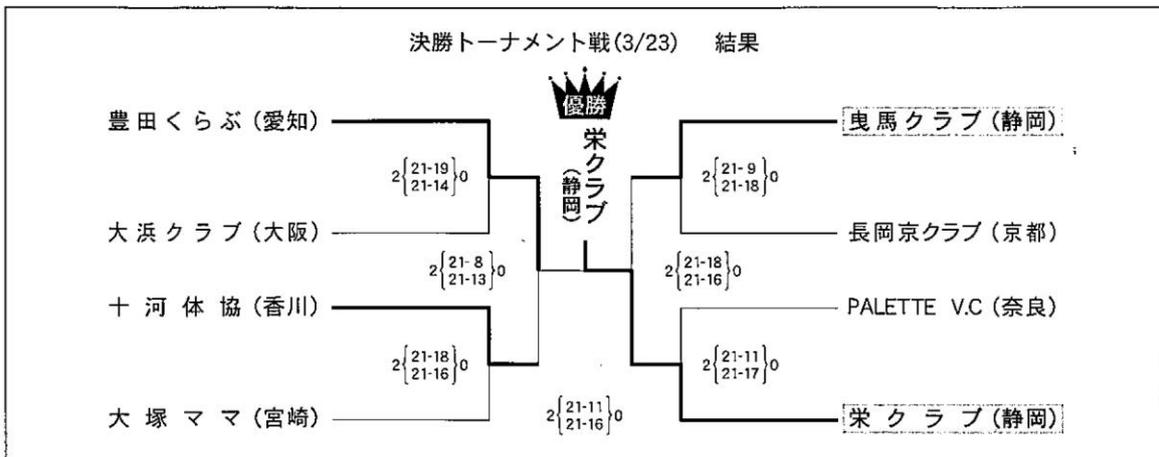
これも役員はもちろんのこと、お手伝いいただいた各チームの皆さんのお力があってこそだと思います。本当にご協力ありがとうございました。家を丸々一週間空けていたのに、黙って協力してくれた家族にも感謝です。



世界にほほたけ！ママさんバレー

第3回 LAWSON CUP 特集号

平成20年3月20日～3月23日 浜松アリーナ



【曳馬クラブ】

※第1日目 (3/21) グループ戦結果

ブレーメン (福井)	$2\left\{\begin{matrix} 21-8 \\ 22-20 \end{matrix}\right\}0$	
曳馬クラブ (静岡)2	$2\left\{\begin{matrix} 21-15 \\ 21-13 \end{matrix}\right\}0$	
フジクラブ (富山)	$2\left\{\begin{matrix} 21-18 \\ 21-18 \end{matrix}\right\}0$	$2\left\{\begin{matrix} 21-19 \\ 21-19 \end{matrix}\right\}0$
森本 (石川)	$2\left\{\begin{matrix} 21-17 \\ 23-21 \end{matrix}\right\}0$	
追分バレーボールクラブ (秋田)	$2\left\{\begin{matrix} 21-9 \\ 21-9 \end{matrix}\right\}0$	
とよみフレンズ (沖縄)	$2\left\{\begin{matrix} 21-9 \\ 21-9 \end{matrix}\right\}0$	

※第2日目 (3/22) グループ戦結果

フジクラブ (富山)	$2\left\{\begin{matrix} 21-14 \\ 21-16 \end{matrix}\right\}0$	
ブレーメン (福井)	$2\left\{\begin{matrix} 21-10 \\ 21-17 \end{matrix}\right\}0$	
追分バレーボールクラブ (秋田)	$2\left\{\begin{matrix} 21-10 \\ 21-13 \end{matrix}\right\}0$	$2\left\{\begin{matrix} 21-15 \\ 21-18 \end{matrix}\right\}0$
曳馬クラブ (静岡)2	$2\left\{\begin{matrix} 21-9 \\ 21-4 \end{matrix}\right\}0$	
森本 (石川)	$2\left\{\begin{matrix} 17-21 \\ 21-11 \\ 21-13 \end{matrix}\right\}1$	
とよみフレンズ (沖縄)	$2\left\{\begin{matrix} 21-11 \\ 21-13 \end{matrix}\right\}1$	

【栄クラブ】

※第1日目 (3/21) グループ戦結果

豊浦 J.V (新潟)	$2\left\{\begin{matrix} 21-11 \\ 21-19 \end{matrix}\right\}0$	
黒沢尻クラブ (岩手)	$2\left\{\begin{matrix} 21-18 \\ 21-15 \end{matrix}\right\}0$	
大里 (三重)	$2\left\{\begin{matrix} 19-21 \\ 21-14 \\ 21-9 \end{matrix}\right\}1$	$2\left\{\begin{matrix} 21-15 \\ 21-14 \end{matrix}\right\}0$
常陸小川 (茨城)	$2\left\{\begin{matrix} 18-21 \\ 21-14 \\ 21-17 \end{matrix}\right\}1$	
飛鳥クラブ (栃木)	$2\left\{\begin{matrix} 21-7 \\ 21-6 \end{matrix}\right\}0$	
栄クラブ (静岡)1	$2\left\{\begin{matrix} 21-7 \\ 21-6 \end{matrix}\right\}0$	

※第2日目 (3/22) グループ戦結果

大里 (三重)	$2\left\{\begin{matrix} 21-18 \\ 21-16 \end{matrix}\right\}0$	
豊浦 J.V (新潟)	$2\left\{\begin{matrix} 21-16 \\ 21-16 \end{matrix}\right\}0$	
飛鳥クラブ (栃木)	$2\left\{\begin{matrix} 16-21 \\ 21-18 \\ 21-16 \end{matrix}\right\}1$	$2\left\{\begin{matrix} 21-8 \\ 21-10 \end{matrix}\right\}0$
黒沢尻クラブ (岩手)	$2\left\{\begin{matrix} 21-17 \\ 22-20 \end{matrix}\right\}0$	
常陸小川 (茨城)	$2\left\{\begin{matrix} 21-11 \\ 21-16 \end{matrix}\right\}0$	
栄クラブ (静岡)1	$2\left\{\begin{matrix} 21-11 \\ 21-16 \end{matrix}\right\}0$	

栄クラブ 日本一

サカエ		静岡県	
栄クラブ			
監督	新松望	文光絹	子子枝
コーチ	村永月		
マネージャー			
番号	氏名	氏名	氏名
①	秋法	山月	子子
②	石長	田川	恵紀
③	谷持	川明	美
④	長持	塚千	春世
⑤	加村	藤千	佳
⑥	高村	松千	子
⑦	高村	畑美	香子
⑧	鈴小	木三	子
⑨	橋小	塩本	恵子
⑩	野小	田綾	子
⑪			
⑫			
⑬			
⑭			
⑮			
⑯			
⑰			
12人の平均年齢 39.2歳			

地元開催のLAWSON CUPということで、力が入り練習時間も内容もハードなものになりました。きつと選手たちの身体は悲鳴を上げたでしょう。

しかし、誰一人文句も言わず、弱音を吐くものもいず、真剣に取り組んでくれました。それを思い浮かべると、今でも涙がでてきます。厳しい練習を乗り越えたときは、体力も精神力も強くなる。結果はそれに比例してついてくるものだと、つくづく思います。ここまでチームがひとつになつて熱くなつた大会は久しぶりで鳥肌が立つ感動でした。

最後に、大会関係者の皆様には、心より感謝いたします。

(新村 文子)

栄クラブ(家庭婦人)に入つて二十年が経ちます。でも今回の様にこんなに長い時間を、チームの皆と共有したのは、初めてでした。十一月の予選から三月の全国大会までの間、チームメイト全員が「目指せハワイ!」を目標に選手、スタッフが同じ気持ちで自分の役割を務め、苦しい練習にも耐え励まし合つて来ました。

この大会で一人一人の絆がより深くなつたのではないかと感じます。栄にかかわり、応援して下さつた方々に感謝の気持ちで一杯です!最後に、栄に入つて本当に良かった!バレーを続けてきて本当に良かった!

(松永 光子)

「全国大会出場、そして優勝」、すべて夢のようでした。決勝戦では、チームワークが、最高点に達し、皆が一つになつた瞬間でした。家庭婦人とは思えないような練習に、誰一人ギブアップすることなく、頑張ってきた結果だと思えます。この素晴らしい経験をさせていただいた関係者・家族そしてチームに感謝します。

(望月 絹枝)

LAWSON CUP初出場で初優勝、おまけにハワイ遠征とママさんバレーでこんなに素晴らしい体験が出来るとは思つてもみませんでした。仕事や家事と両立しながら好きなバレーを続けることは簡単なことではありませんが、努力次第で誰にでもそのチャンスが訪れるのだと希望を持って今後も練習に励みたいと思います。

(持塚 千春)

全国大会に向けてチーム一丸となつて頑張つた練習の成果が全国優勝という最高の形となりました。一緒に頑張つた仲間とハワイ旅行ができ、バレーボール人生最高の思い出です。陰で支えてくれた周りの人々の気持ちも心に染みしました。このような素晴らしい経験をぜひ他のチームのみなさんにも味わつてほしいと思います。

(法月由起子)

全国制覇、ハワイでの試合と貴重な経験ができたのは周りの人達の支えがあつたおかげだと思えます。

今回の経験は勿論、日々バレーボールが出来る事に幸せを感じます。そして感謝の気持ちでいっぱいです。これからも感謝の気持ちを持ち、バレーが出来ると喜びを感じてプレーしていきたいです。本当に有難うございました。

(橋本 千恵)

全国大会出場が決まり、日程の確認をすると大会初日は長女の中学卒業式! 週二回に増やした練習に力が入り始め、長女の受験勉強も追い込みに入つた年明けのある日、試合はあきらめかけていた私に彼女が言いました。「バレー行きなよ、皆もお母さんも困るでしょ。」卒業式は友達のお母さんちがいるし大丈夫!

思えば、おむつも取れない頃から先輩ママさんに世話になり、練習・試合にはいつも一緒でした。何かあつて気持ちが沈んだ時も、体育館に行けば楽しい仲間といつでもバレーができる・目標に向かって皆で取り組む楽しさの過程を、彼女は長く見て来ていたのでした。

更に、卒業式には地域のお母さん達も協力してくれ、私が心置きなく全国大会に参加できるように支えてくれました。

「家族・仲間・地域の方々」すべて人と人とのつながりです。バレーを通してこのかかわりの大切さ・ありがたさを感じて来ました。そして今回、LAWSON CUPに出場し優勝できた事で、私と栄クラブを支えてくれた皆さんに、少し恩返しが出来たかなと思っています。

これからも感謝の気持ちと謙虚さを忘れず、前進し続ける栄クラブである為に、私自身も挑戦していきたいと思えます。ありがとうございます。

(高畑 訓子)

「日本一」ご褒美が「ハワイ」「ハエー」と思っていた大会。まさかその栄冠を勝ち取り、南国の島までとは…。

改めて、すごい事をやつてのけた仲間と感動を共有できたチームに感謝です。またいろいろと御尽力頂きました方々には、有り難い気持ちで一杯です。

(秋山智恵子)

早いもので今シーズンも終わりに近づいてきましたが、三月の浜松アリーナの感動と興奮は今でも鮮明に思い出します。

チームとしてあのLAWSON CUPへは特別な思い出がありました。大会まで厳しい練

習に耐え、気持ちの面でもチーム全体がとても強い力で結ばれ自信をもって大会に臨むことができました。会場へ足を踏み入れた時、不安や緊張ではなく、今まで練習してきた成果を早く試合で出したいというワクワクした気持ちだったことを覚えていきます。

この大会での優勝は選手の手だけでなく、いつも応援してくださる方々や家族の協力がなくては手にすることはできなかったと思うので、本当にあらためて感謝の気持ちでいっぱいです。

(小野田綾子)

法月コーチが、いつも言っている「一人一人がチームの為に何が出来るか」を考え、チームが一丸となり、優勝でき、色々な人に今まで以上に感謝できた良い機会でした。

人生の中で、バレーは宝物でしたが、そこで知り合えた友は、もつと宝物でした。皆さんあたたかい心をありがとうございました。

(石田恵美子)

栄クラブでプレーして二十四年、最も印象に残り思い出深い大会でした。クラブの大先輩の突然の訃報、自分の緊急入院等、様々な出来事を持ち越えて皆で掴んだ「優勝」だったからです。そして初海外旅行&国際試合。これらの事を通して、改めて、バレーができる喜び、仲間の存在、家族の優しさを感じました。最後に「スポーツに支えあい(感謝の気持ち)」

(長谷川明美)

栄クラブに入って一年も経たずに全国大会という大変貴重な経験をさせて頂きありがとうございます

ました。

家庭婦人がこれほどハイレベルな戦いだという事に驚きました。

また、ハワイの親善試合では、選手の体格の差に不安等もありましたが、楽しくプレーが出来ました。やはりスポーツに国境はありませんでした。

(鈴木 美香)

伝統ある栄クラブで、全国優勝を経験させて頂き大変光栄に思います。

日々努力を重ねて来た選手はもちろんの事、常に私たちをサポートし支えて来てくれたスタッフに恵まれたお陰だと改めて感謝します。日本一になるにはチームワークが大切であることもこの大会で実感しました。

多くの人に声援して頂き、結果を残すことができました。ありがとうございます。

(村松 笑佳)

私にとっては、初めての全国大会で、役員としての参加ではありましたが、チームの皆の力が一つになりすばらしい試合をして優勝できた事、大変感動しました。ハワイ旅行にも一緒に行かせていただき、嬉しかったです。又、家を快く出してくれた家族には、大変感謝しています。ありがとうございます。

(清水はる美)

地元開催の全国大会で優勝という輝かしい功績を残せたことを本当に嬉しく思います。

選手の年齢層は幅広くても、みな同じ目標を掲げて頑張ることが出来る「ママさんバレー」は、

本当に素晴らしいスポーツです。チームで行かせて頂いたハワイでの思い出は、私の一生の宝物になりました。ありがとうございます。

(加藤 千世)

夢のような出来事を、昨年三月浜松アリーナの舞台上で味わうことができました。

厳しい練習、時にはメンタル部分でネガティブになりましたが素敵なチームメイト、スタッフ、そしていつも笑顔で送り出してくれる家族のお陰で優勝できました。この大会で得た強い精神力、チームメイトとの絆は私にとって生涯の宝物です。この大会に関わるすべての皆様に感謝します。ありがとうございます。

(小塩祐三子)

LAWSON CUPに参加して、たくさんの方に応援・協力をいただき全国優勝できた事、本当にうれしく感謝の気持ちで一杯です。皆さんありがとうございました。

また、選手もスタッフも栄クラブ全員が心を一つにして得た勝利だったと思います。

今、私は栄クラブで最高にバレーを楽しんでいます！

(平山 朋子)



曳馬クラブ 全国第3位

静岡県 曳馬クラブ	
美子子	明穂幸
本井谷	山横神
監督	コーチ
マネージャー	
番号	氏名
1	新木
2	近川
4	伊藤
5	佐大
6	松伊
8	伊藤
9	豊竹
10	藤伊
11	子美
12	恵子
13	美幸
14	子希
15	子里
16	のり
17	理知
18	美千
19	朋弘
20	庭谷
21	熊田
22	内井
23	東
24	伊
12人の平均年齢 41.1歳	

地元浜松で開催されるとあってチーム一丸となり燃えました。地区予選、県予選と、次第に緊張感が高まっていき、市長表敬訪問の後、決戦の始まりでした。

「練習は嘘をつかない」「結果は付いてくる」この様な言葉を肌で感じた大会でした。

応援して下さいます。すべての方々に感謝申し上げます。

(山本 明美)

浜松で開催された全国大会に参加できたことに感謝感謝。周りを見渡せば強豪チームだらけで、どこまで自分たちがやれるかとても楽しんで取り組みました。他県との交流会も賑やかで、そして、ローソン弁当もおいしかった。ただただ残念だったのは、準

決勝で栄クラブに敗れハワイ行きを逃した事。今度こそは！と練習に激を飛ばしている。

(横井奈穂子)

【第三回LAWSON CUP】この大会は、私にとって、大切な思い出になりました。地元開催という事で、出場チームのスタッフ、大会役員と二役で参加できたからこそ味わうことができた喜びが数多くありました。中でもバレーボールが好きで仲間達が、大会役員として一生懸命仕事をすすめる中で、「曳馬頑張つて！」「決勝トーナメント進出おめでとう」と、自分の事のように喜び、暖かい声援を掛けてくれたこと、とてもとても感謝しています。ありがとうございます。

(神谷 幸子)

第三回というまだ浅い歴史の大会ですが、規模の大きさ、充実した内容に驚きました。各県の代表が集い、全国でどのようなバレーボールが展開されているのかがわかり、これからの指針になるものでした。

絶大なローソンさんのバックアップを得たこの大会。これから益々全国のママさん達の目標になると思います。

素晴らしい体験をさせて頂いたことを感謝申し上げます。

(新木 理子)

今年が最後：今年が最後：と言いつつ、この歳まで好きなバレーを好きな仲間達とやってきました。今年のLAWSON CUPは、私の最後の全国大会になるだろうと、気持ちを集中して大会に臨みました。全国第三位、満足のいく結果が残せ、

チームの気持ちがこれまで以上に一つになったと実感できた素晴らしい大会になりました。

(佐竹 朋子)

「バレーボールを愛する強豪ママさんチームが、全国から集結する！」と聞いて：ワクワク。予選を勝ち抜き、出場権を得て：ウキウキ。惜しくもハワイは逃したものの(悔)、全国三位に輝いて：ドキドキ・バクバク！ローソンさん、大会関係者の皆様、ハートが爆発しそうな感動をありがとう！もう一度チャレンジ：したいなあ。

(川井美和子)

本当に素晴らしい思い出になりました。

今年度は、開催県が静岡県ということもあり、他県で行う大会とは違いプレッシャーもありましたが、全国三位という素晴らしい結果で終わることができ、それまで協力して頂いた方々に本当に感謝しております。でも、ハワイに行きたかったあ〜！

(近 知栄美)

まずは、LAWSON CUPという大きな大会を開催して頂いた事に感謝します。

全国大会を目標に一年間練習に打ち込み、そのおかげでチーム力がアップし、ますます絆も深まりました。

また、比較的年齢の高い私達を根気良く指導してくれた監督、コーチにも感謝です。

結果、全国三位の好成績。バレーをやっている本当に良かったと思えました。

(大庭 弘美)

今回の大会に際し、ローソンさん並びに報道の皆様、バレーボール協会の役員及びスタッフの皆様は大変感謝しております。

本クラブや自身においても、過去最高の成績を修められたのも皆さんの支援と応援の賜物です。その中でも大会前日のレセプション、本選では、たくさんの仲間とのふれあいとローソンさんの細かい心配りに感動しました。

その後の試合でのお弁当は、副賞のプリペイトカードでいつも「ローソン」。店長のサービスも天下一品！

チームでも個人でもこれからは色々なコンビニの中でも「ローソン」を積極的に利用していきたいと思えます。ありがとうございました。次回は、絶対「優勝！」。

(藤井 英里)

地元浜松で開催だった為、家族や友人が応援に来てくれたり、会場のお手伝いをしてくれた皆さんから声を掛けてもらったりと、たくさんの勇気をもらって挑んだ大会でした。結果は三位。

曳馬クラブの一員としてコートに立てたことはとても幸せで応援協力してくれた方に感謝の気持ちで一杯です。人生の宝物になりました。

(竹内 幸子)

「平・常・心」を合言葉に、チーム一丸となり優勝目指して戦いました。結果は第三位！ハワイこそ行けませんでした。結果は第三位！ハワイこそ行けませんでした。結果は第三位！ハワイこそ行けませんでした。結果は第三位！ハワイこそ行けませんでした。結果は第三位！

(伊熊三賀子)

三月二十日から四日間にあわたり浜松アリーナで開催された全国大会に参加でき、素晴らしい経験をすることが出来ました。普段戦う事がない各都道府県の代表チームと試合が出来ると言う事で、日頃の練習の成果がどのように発揮できるのか楽しみでした。「練習内容はどこにも負けない！」という自信を自信にし、順調に勝ち進み、あと一歩というところで宿敵、静岡代表の栄クラブに負けました。全国三位という結果を残すことができた事は、今後の自信につながると思います。しかし、ハワイ行きたかった！

(伊東みのり)

LAWSON CUP全国大会に出場して、本当に夢のように楽しい四日間でした。しかも結果は「全国三位」監督、コーチ、サポートしてくださった皆さん、選手、応援してくれた家族の心が一つになって勝ち取った結果です。曳馬クラブの一員として、この大会に参加できた事は本当に幸せで、私にとつて宝です。

(豊田 真希)

LAWSON CUPは、私自身が初の全国大会で、この四日間はとても興奮し楽しめた大会でした。ハワイに届かず残念でしたが、チームが一つになり練習を重ねて大会に臨んだことはこれからに向けて意義深いものになりました。地元開催も心強く感じ、サポートしてくれた多くの方々にも感謝しつつ、益々練習に励みたいと思います。

(松谷 幸)

浜松での全国大会に出場できたことをとても嬉しく思っています。

そして、家族の協力のありがたき、仲間の暖かき、信じての大切さ、全国のバレー仲間との交流を通じてのバレーボールの素晴らしさを再確認し、更に心に深く感じる事ができました。

今まで以上に、バレーボールがスキになり、このチーム、仲間がもっと好きになりました。とてもいい経験が出来ました。

(馬淵 千恵)

優勝めざして臨んだこの大会。日頃の練習成果がどうなるか、私達も楽しみでした。結果三位となり、嬉しき、悔しさを持ちながら終えました。

地元浜松での試合は、家族や多くの友人に支えられ、感謝の気持ちでいっぱいです。再び、この大きな舞台に立てる事を目標にこれから頑張ります。

(村木真規子)

初めての参加で、三位という結果、優勝を狙っていたので残念でしたが、立派な成績だと思いません。私は、レギュラーではなく裏方で応援でしたが、会場も地元浜松ということで、沢山の応援の人たちが来てくれ、本当に良かったと思います。各都道府県の代表チームも個人力、チーム力とも紙一重だと思いました。見ていても楽しかった大会を、観戦できたことはいいい経験になりました。

(柴田 京子)

今現在はプレーしていますが、浜松大会の時は妊娠中で参加することが出来ず残念でした。応援には全試合行きましたが、プレーするより応援するほうがハラハラするし、出場してみたかたなうという気持ちでいっぱいでした。次に出場する機会があったら、優勝目指したいと思います。

(本田 真弓)

私はスタッフとして裏方で試合に出るメンバーをサポートし、みんなが練習に集中できモチベーションを上げて試合に臨むことが出来るよう心掛けた。そして、三位になったことはとてもいい経験になるとともにみんなの今後の大きな自信につながっていくと思います。

(泉澤 泰代)

地元開催の中の熱い練習とピリピリムード。

常に緊張感漂う雰囲気の中の練習も大変でしたが、バレーをやるという楽しい時間を仲間と共に過ごす事が出来ました。結果、全国三位の素晴らしい成績。代表の仲間はとても頑張ってくれて嬉しかった。

次は自分自身で頑張るぞー!!

(関谷 千敏)

曳馬クラブの一員になってから約二年なので、LAWSON CUPの様な大きな大会を体験できたことをうれしく思いました。

一つでも上へ行つてほしいという気持ちで応援しました。普段、浜松市内での大会で相手チームだった人も、一生懸命曳馬クラブの事を応援してくれました。バレーボールを通しての人のつながりに感動しました。

私自身はまだまだ下手ですが、自分の出来ることから徐々に向上して、チームに貢献できればいいなあと思っています。

(西川 裕子)

大会を支えた人々

「興奮と感動をありがとう」

施設・用具委員 森戸 洋子(浜松なごみ)

役員が集めた初日、何をやっていいのか分からず右往左往、それでも各地から集まった役員の方々と仕事の合間に交流する余裕があったり、さすがおばちゃん達。開会式のリハーサルが納得のいくまで繰り返し返され、いよいよ開会式。全国から集まった選手たちを迎え緊張が高まりました。私は選手と同じフロアでの仕事でしたので、自分も試合に参加しているような興奮を味わうことが出来ました。スピードのあるサーブ・高い打点のアウトタックはどのチームもすばらしかった。でも、それに対抗するブロック・レシーブ・つなぎのうまさも勝敗を分けたように思えました。地元の二チームが優勝・三位を獲得し興奮と感動のうちに無事大会が終了しました。

全国大会がまた静岡で開催されると聞いています。多くの選手たちに観戦してもらい、この興奮と感動を目と心に焼きつけ、これからの練習の「糧」にしてもらいたいと思います。

「開会式に参加して・・・」

歌唱担当 松本 葉子 (Dash)

ママさんバレーの選手の端くれである私は試合の日、いつも決まって黒い大きなカバン。今日はLAWSON CUP全国大会の日。私のカバンは小さなセカンドバッグ。しかも私の横にはチームメイトではなく、合唱の仲間が二人。そう、私達は開会式に「ママさんバレーの歌」を歌う者としてアリーナに来ました。早速リハーサル、本番



です。

十日前、私達は集まって、歌の練習をしました。指揮の先生も見えないので、二部合唱にするのか？間奏はどこではいるのか？CDと楽譜と音が違うけど・・・等々相談しながら何度も声を合わせて練習しました。

そして今日、いよいよ開会式の始まりです。選手団の笑顔の入場です。行進曲は県警のプラスバンド。その迫力ある音を聞いた瞬間「たった三人で歌うんだ」と思ったら背すじが更に伸び、身が引き締まりました。その数分後、出番!!役員の方に教わったとおり丁寧にお辞儀をし、三人で声を張り上げアリーナ全体に響きが届くよう精一杯歌いました。選手の方も役員の方も客席の方も口ずさんでいただけのような気がしました。「LAWSON CUP全国大会、成功を祈って!」そんな思いを持って歌った一曲でした。合唱人生の中でも今までにない経験をさせていただいた一日でした。どうもありがとうございました。

「派遣審判員を経験して」

審判委員 勝呂 律子(玉穂クラブ)

バレーボールを楽しむ事ばかりで、審判に専念する機会がなかった私に、派遣審判員のお話を頂いた時は、私か?と半信半疑、本番に向けていろいろな場面で審判をさせて頂くうちに、次第に事の重大さを痛感、考えるだけで緊張する有様でした。

大会では記録、副審、主審、ラインズマン、と複数回経験させていただきました。悔やまれる場面が多々あり、大会審判役員他の方々のアドバイスに審判の難しさを改めて痛感するばかりでしたが、主審、副審、記録、ラインズマンの審判団が

一体となりゲームを盛り上げる楽しさ、充実感を体験する事が出来ました。

本大会の審判団の一員に加われたことは、私のバレー人生の中の大きな一ページです。

この経験をこれからの活動に生かして行きたいと思うとともに、貴重な経験をさせていただき本当に有難うございました。

「協力員として参加して」

記録委員 山崎多鶴子(掛川飛翔クラブ)

平成二十年三月二十日〜二十三日に、浜松アリーナにて開催された「第三回LAWSON CUP」に審判部協力員として参加させていただきました。主な実務としては、「記録」を担当しました。

二月の「説明会・リハーサル」に全国から来られた本部役員の方々のご挨拶、各部での打ち合わせが行われましたが、その緊張感に、大会の大きさと、責任の重大さを感じました。

全国大会ではともすれば試合の鍵を握るといわれる「審判部」だけに、空気はびりびりしたものでした。審判の皆さんに、その責任感を見ることとなり、とてもよい勉強をさせていただきました。

過去、全国大会に出場することがありましたが、このような形でその恩返しが少ないでもできたうれしく思います。

最後に、全国大会のみならず数々の大会を運営されている役員の皆さんに改めて感謝したいと思います。

「緊張と感動の四日間」

ブラカード 田中ひとみ(浜松北星クラブ)

私はブラカードとして開会式に参加させて頂きました。事前のリハーサルでは、歩き方や姿勢

ブラカードの持ち方まで細かい指導があり、一気に緊張感が高まりました。いよいよ本番。張り詰めた空気の中、大きく深呼吸をして一步一步足を進めました。LAWSON CUP全国大会が、通い慣れた地元の会場で行われ、その開会式場に今自分が立っている(選手としてでなかったのが残念ですが)ことに、大変感慨深い気持ちになりました。

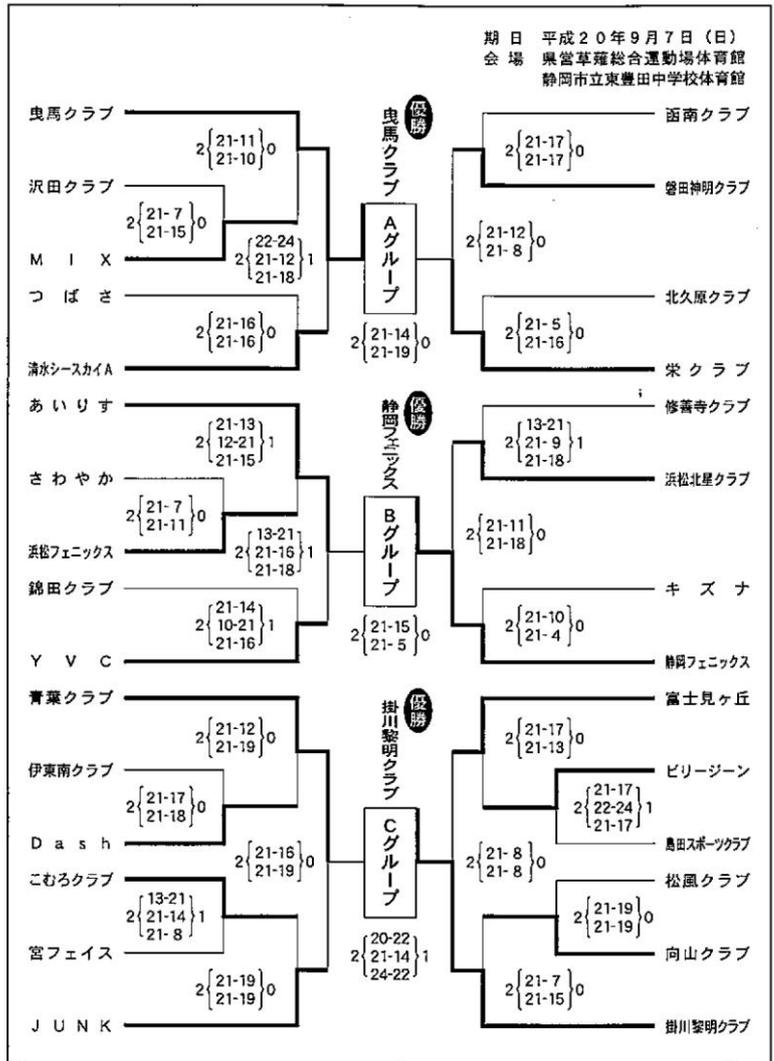
大会中は記録員のお手伝いもさせて頂き、緊張の連続でしたが、全国からみえた派遣審判員の方々の、高い向上心を持って真剣に取り組む姿を間近に見ることができ、大変勉強になりました。

大会を通じ、とても有意義な時間を過ごすことができました。このような機会を与えて頂いたことに感謝しています。ありがとうございました。



コカ・コーラ セントラル ジャパンカップ 第 32 回 静岡県家庭婦人バレーボール大会

期日 平成20年9月7日(日)
会場 県営草薙総合運動場体育館
静岡市立東豊田中学校体育館



《コカ・コーラ セントラル ジャパンカップ
に参加して》

こむろクラブ 西島ゆかり

県大会出場が決まり、グループ優勝を目標に練習をしてきました。

県大会当日、草薙体育館の広さにプレッシャーを感じつつ試合に臨みました。みな緊張のあまりなかなか自分たちのプレーが出来ず二回戦で敗退しました。

県大会でいろいろなチームを見て、まだまだ自分たちのチームに足りない所があると実感しました。来年に向け一人ひとりが新たな目標を持ちまたリベンジしたいです。

大会を運営してくださったコカ・コーラ セン
トラルジャパン株式会社様、役員の皆様ありが

とうございました。
また、バレーが続けられることを家族に感謝です！

YVC 武田 陽子

今年も盛大に開催された「コカ・コーラ セン
トラルジャパンカップ」。YVCは今回、Bグルー

プの出場になりました。高校生によるステキな生
演奏で出場チームが入場し、多くの開催関係者
大会役員の方々が紹介され、大会の大きさを実感
する瞬間。選手宣誓の言葉で、この場所にいれる
のも大好きなバレーができるのも家族の理解と協
力があってのことだと、いつも再認識すると同時
に、バレーができることの喜びと幸せを感じます。

テレビ放映されるこの大会。もともと多
くの人たちがバレーを「生涯スポーツ」に選ん

でくれたらいいなと思います。
我がチーム、目指すは熱いくらいのライトいっばいの
決勝コート。来年も会えるようにチーム一丸となってが
んばるゾー！

島田スポーツクラブ 小林 江里

私たち鳥田スポーツクラブは、今回Cグループでの参
加になりました。結果は一回戦で負けてしまい内容も納
得できるものではなく、本当に「参加」という形になっ
てしまいました。とても悔しい気持ちで一杯でした。

自分たちの試合の後、他のチームの試合を「あんな風
に声を出して盛り上がれたら！」「あんな風にプレーで
きたら！」「あんな風に勝つことができたら！」という
思いで見えていました。

今の私たちのチームは、課題も多く個々も自分のプ
レーに思い悩んでいて今ひとつまとまりに欠けていま
す。今一度、初心に戻り、意識を高め課題の一つ一つを
皆で力を合わせてクリアしていきたいと思えます。今回
の悔しい思いをバネにして、次回はCグループでの優勝
を目標に頑張ります。

ビリージーン 永島みち子

コカ・コーラ セントラル ジャパンカップ 県大会出場
にむけて、チーム一丸となって毎週の練習を頑張ってき
ました。

久しぶりに県大会出場権を得て、九月七日草薙体育館
に着いた時は、学生時代にもどったような緊張感と興奮
を感じました。

我がチームは十二人の中に親子が二組をいるという、
本当に新旧一体となったチームです。新旧の力が合った
時は素晴らしい力が発揮できますが、少しずれた時はもろ
くなってしまう。県大会二回戦では、そのもろさが
出てしまい、自分たちのバレーが出来ず悔しい思いをし
ました。来年の大会までには練習中からチームワークと
技をみがき、年齢を感じてきた身体と向き合いながら、
努力を重ねて、また草薙体育館にて自分たちのバレーを
楽しみたいと思います。ビリージーン・ファイト！

《特別賞を受賞して》

ふじクラブ 下川原 守
 コカ・コーラ セントラル ジャパン カップ 第三十二回
 県大会において、特別賞を頂き感激でいっぱいです。県
 協会様、テレビ静岡様、コカコーラ様、バレーボール連
 盟の皆様にご心よりお礼申し上げます。

西益津球趣会 長谷川フユ子
 還暦も過ぎ、これ程永くバレーボールに携われるとは
 夢にも思いませんでした。今日「特別賞」を頂くことに
 なり、私にとって最高の出来事です。連盟の役員の皆様、
 チームメイト、家族に感謝いたします。

五十歳過ぎに突然、網膜剥離で四回の手術を受けまし
 た。視野も狭くなり、ボールも追えなくなりました。ま
 だ、ママさんチームの後押しをさせてもらおうとコート
 から離れることを決意しました。コートの外から見たバ
 レーボールは中とは全く違った楽しさ、気楽さがありま
 した。この先、心を込め応援を一生懸命続けていきます。

曳馬クラブ 山本 明美
 曳馬クラブに入部して、早二十六年です。

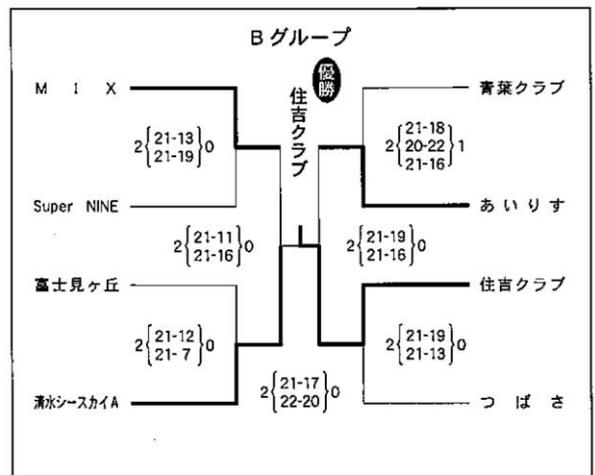
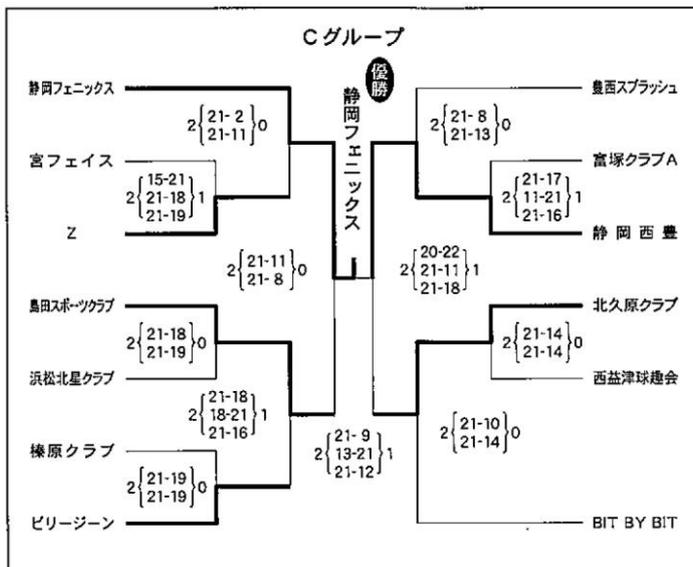
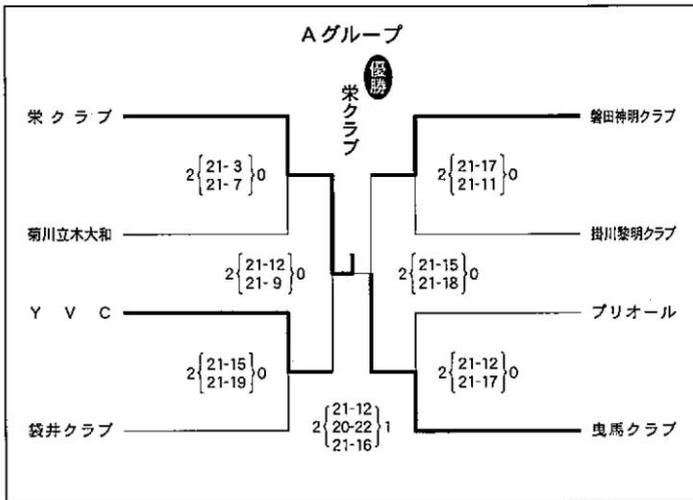
入部の頃は、試合出場も危ぶまれるチームでした。今で
 は、コーチも迎え総勢二十余名、県大会上位を目標とす
 るチームに成長しました。継続する事は意義があると申し
 ますが、創部を支えた大先輩、ご指導下さった連盟役員
 の方々がこのような活躍の場を与えてくださった事を忘
 れてはならないと思っています。

当初は、朝から家事の段取りをし、今日は練習日と解っ
 てもらえるよう苦労したものです。そして、今もバレー
 に携わっていただけるのは、バレーを通じて得た多くの大

切な友人達など周りの人達のお陰と感謝しています。
 本年は、全国大会第三位、コカ・コーラカップ連覇と
 実り多い年となりました。その様な中で、特別賞を頂き
 とても光栄に思います。
 又、全国大会と特別賞を頂いた時には、チームの皆が
 花束を添えてくれました。幸せです。私のバレー人生、
 感謝で一杯です。

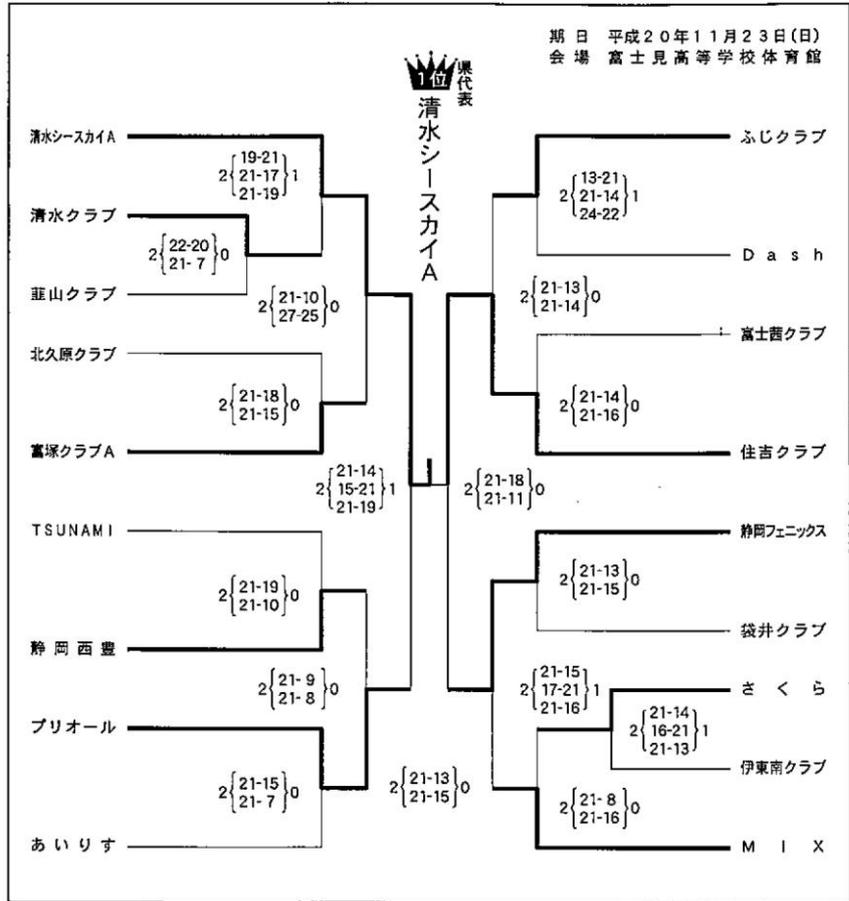
静岡県家庭婦人
 バレーボール優勝大会

期日 平成20年4月6日(日)
 会場 静岡県武道館 藤枝勤労者体育館



世界にはばたけ! ママさんバレー
第4回 LAWSON CUP 静岡県予選大会
 栄クラブに続け!! 清水シースカイA

期日 平成20年11月23日(日)
 会場 富士見高等学校体育館



《全国大会にむけて》

清水シースカイA 石川 好美

今回の県予選大会には、前回本大会に出場している県内トップ二チームが参加不可と聞き、もしかしてもしかすると：行けるかも！チャンスかも！と意気込んで望んだ中部予選ではギリギリの人数で望むも優勝。全国に行けるかも！とワクワクしながら望んだ県大会でも、一試合一試合がギリギリの勝負でしたが、念願叶って優勝する事が出来ました。

そして、現在はレベルアップに向け練習

習日を増やし、チーム一丸となって練習に取り組んでいます。前大会の県代表二チームの素晴らしい活躍に恥じぬように・とプレッシャーのような緊張感もありますが、一分一秒でも長く試合が出来るように、高い目標をもって頑張りたいと思います。

最後になりましたが、LAWSON CUP開催の関係者の皆様に感謝申し上げます。

《LAWSON CUPに出場して》

さくら 大野奈央美

私達のLAWSON CUPは不戦勝で始まりました。これで「一回勝てば県大会だ」という気の緩みが生じて、戦わなければならない試合が見えなくなってしまうました。正直なところ、普段の練習が勝つための練習になっているとは言い難く、毎回一回戦は対戦相手に何度も同じ球で攻められるというパターンで苦戦します。

今回は運良く県大会に進めましたが、結局また一回戦は東部地区のチームと対戦となり、「勝てば西部のチームだ」ということばかり気になって同じことを繰り返しました。

中部や西部のチームを見ると、サーブや二段トスは当然ながら、選手の手から離れるボールには意味があって、それが得点に繋がっているのがよく分かります。長いラリーの中でも、ただ相手に返球するということは少なく、攻めるのが当然という感じで見ている方もワクワクしました。

試合を楽しむためには、やはり練習でつらい思いをしなくてはいけないと思います。

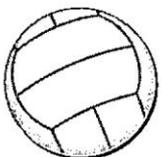
来年もLAWSON CUP県大会に進出できる様皆で努力したいです。

静岡西豊 安本里依子

チームの合い言葉は「楽しんでバレーを」です。まずは、LAWSON CUP県大会のキップを、手にするまでがとても苦しい戦いでしたが、チーム一丸となり、やっとの思いで県大会に出場する事が出来ました。

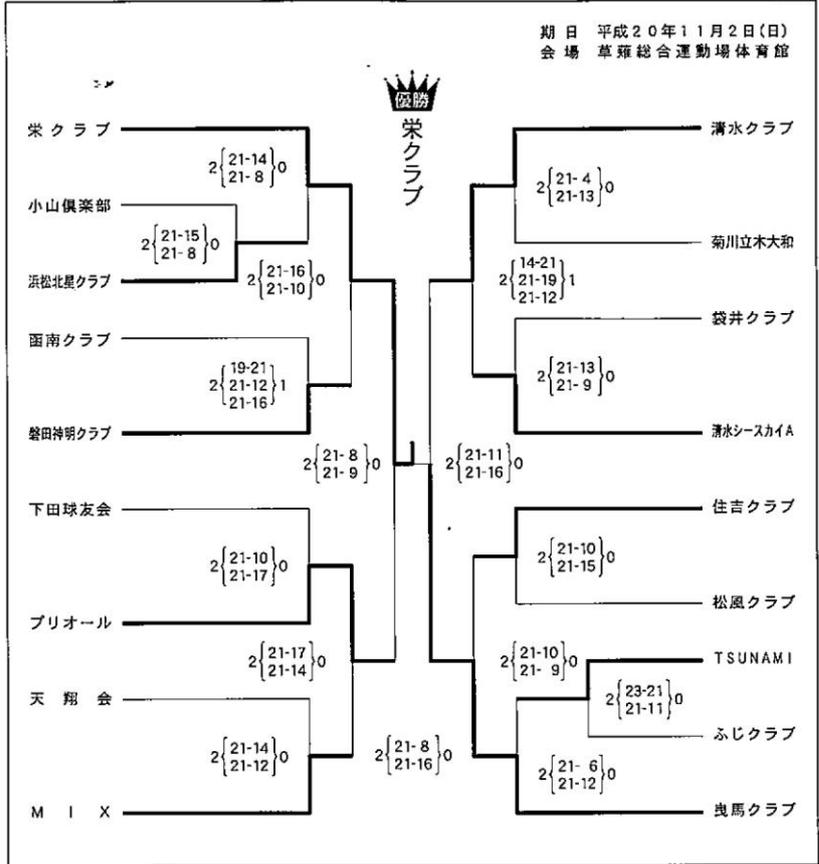
県大会二回戦では楽しむ事が出来ず敗退してしまいました。しかし、目標や、やるべき事を確認した大会でした。今期のLAWSON CUPに向けて昨年個々に得た物を少しでも発揮できる様、日々練習を頑張っています。

全国大会に出場する、清水シースカイさんには、是非、神戸でバレーを楽しんできて欲しいと思います。

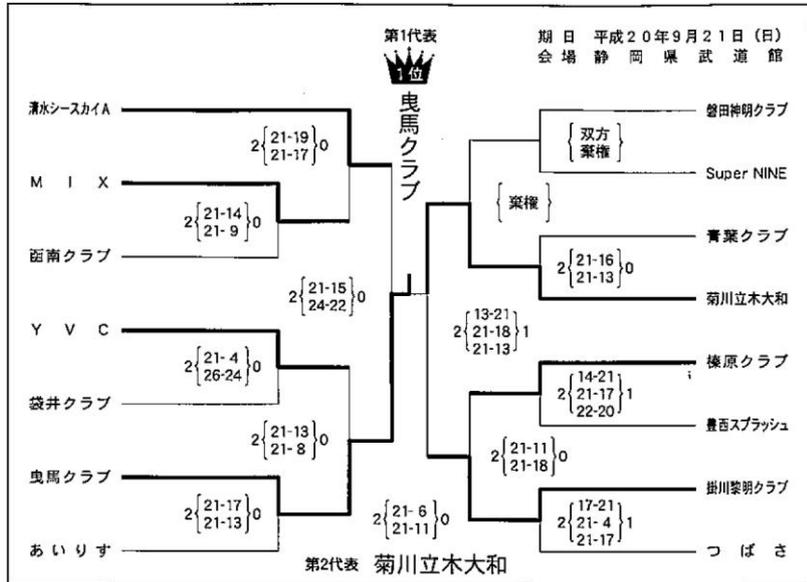


たっけんカップ 第34回 静岡県家庭婦人バレーボール選手権大会

期日 平成20年11月2日(日)
会場 草薙総合運動場体育館



第35回東海家庭婦人バレーボール大会 静岡県予選



《東海家庭婦人バレーボール大会に参加して》

二〇〇〇年に全国大会に出場して以来の県外での試合。予選を勝ち抜くのも難しいチーム状態で、まさに無欲の県大会準備優勝でした。
この大会に出場させていただき、全員の力を合わせて戦い、勝利を得るという喜びを味わわせてもらったのが、我がチームにとって、大変有り難い事でした。他県の方々のプレーも見ることができたのも、とても良い勉強になりました。バレーボールが楽しいものだと思えます。又これから先自分自身もできるかぎり、プレーをしていきたいと思えます。お世話をしていただいた役員の皆様、本当に有難うございました。

菊川立木大和 高部令子

シニアの活躍

第三十五回東海家庭婦人バレーボール大会
十月十二日名古屋市中村スポーツセンター

《成績》第三位
曳馬クラブ
菊川立木大和
向笠和子

《派遣審判員》 向笠和子

「いらっしよ川歴史ロマンの郷」にむかひ

第十二回全国家庭婦人バレーボールことぶき大会
〔開催日〕平成二十年十月十七日〜十九日
〔会場〕いしかわ総合スポーツセンター

〔出場チーム〕 静岡ポラリス
静岡スタールビー

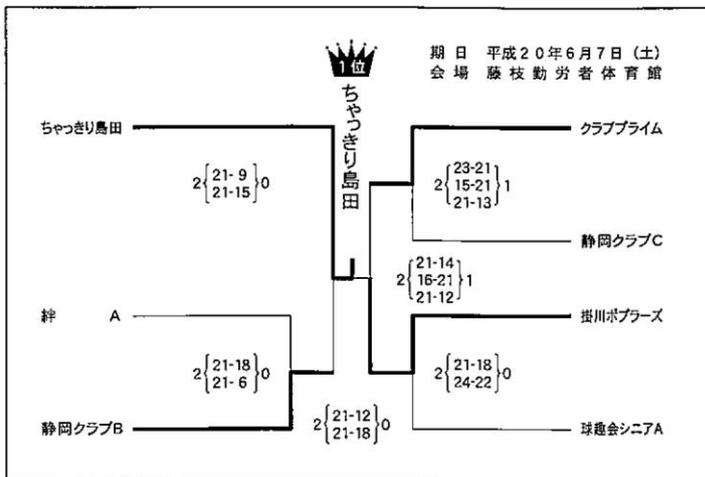
第十一回東海家庭婦人バレーボールことぶき大会
〔開催日〕平成二十年八月二十四日
〔会場〕名古屋市天白スポーツセンター

〔出場チーム〕 しみず 静岡コメット
沼津レモンズ 三島シワーズ
飯田シニアB にしきクラブ
島田ファイブ

「彩の国埼玉」小江戸に集う

第二十回 全国家庭婦人バレーボールいそじ大会
〔開催日〕平成二十年十一月六日〜八日
〔会場〕川越運動公園総合体育館
〔出場チーム〕 静岡あおいクラブ

第十六回東海家庭婦人バレーボール いそじ大会静岡県予選

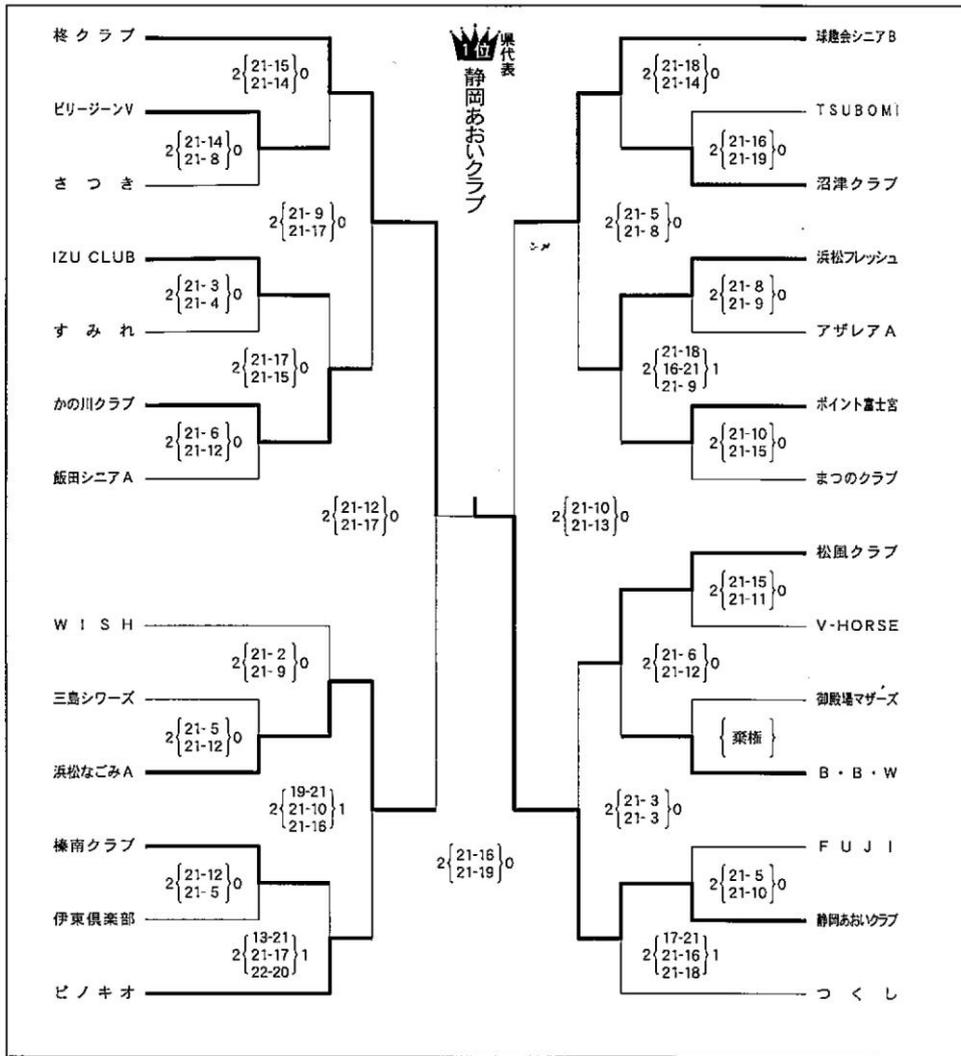


第十六回 東海家庭婦人バレーボールいそじ大会
〔開催日〕平成二十年十月二十六日
〔会場〕掛川市 東遠カールチャーパーク
さんりーな

〔出場チーム〕 ちやつきり島田 掛川ボブライズ
静岡クラブB クラブプライム

第二十四回 全国家庭婦人バレーボール いそじ大会 静岡県予選

期日 平成二十年六月七日(土)
 会場 吉田町総合体育館・藤枝勤労者体育館



平成二十年 主催・後援・協賛各社	静岡県家庭婦人バレーボール優勝大会	サッポロビール(株)東海北陸本部静岡支社
	第39回 全国ママさんバレーボール大会静岡県予選	朝日新聞静岡総局 静岡朝日テレビ (財)静岡県体育協会 静岡県教育委員会
	コカ・コーラ セントラル ジャパンカップ 第32回 静岡県家庭婦人バレーボール大会	コカ・コーラ セントラル ジャパン(株) テレビ静岡 産経新聞社静岡支局 中日新聞東海本社 静岡リビング新聞社 静岡県教育委員会
	たっけんカップ 第34回 静岡県家庭婦人バレーボール選手権大会	(社)静岡県宅地建物取引業協会 静岡朝日テレビ 朝日新聞静岡総局 静岡県教育委員会
	世界にはばたけ! ママさんバレー 第4回 LAWSON CUP 静岡県予選大会	(株)ローソン 朝日新聞社 静岡県教育委員会

◆◆◆ 新規登録チーム紹介 ◆◆◆

★東部

- ・ラビット (沼津市)
- ・TSUBOMI (富士市)
- ・新生クラブ (沼津市)
- ・静岡あおいクラブ (静岡市)
- ・天翔会 (西伊豆町)
- ・ピリージーンV (浜松市)
- ・こむろクラブ (伊東市)

《いそじ》

編集後記

ワタミ代表の渡邊美樹氏は「夢に日付を入れる」という。夢を実現させるためには、いつまでに何をすると、具体的な日付を設けないと、現状に甘えるばかりで結局はやり遂げることができないのだというのだ。

振り返ると、今までの私は現状に甘えつばなし。反省しきりの春の一日であった。

(登) 朝子 記